



「PEOPLE FIRST」 ダイバーシティとグローバル視点



株式会社資生堂
代表取締役 執行役員社長 兼 CEO

魚谷 雅彦

企業にとって、持続的な成長は最大の命題だ。この背景には、もちろんステークホルダーとの共存共栄という観点もあるが、何よりも社会の一員として、企業がどのような価値を提供し続け、よりよい社会の実現に貢献するかが問われている。

新しい価値を生み出すのは「人」である。そのため、当社では「PEOPLE FIRST」と銘打ち、人材の強化に力を入れている。様々なステークホルダーを大きく社員・社会（お客さま・お取引先）・株主で考えると、私は、まずは社員の育成や働きやすい環境づくりを通して、社員が新しいイノベーションを起こすことが一番重要であると考えている。そこから生まれた価値が、ビジネスとして社会へ還元できれば、お客さまの満足につながり、企業として成長し、やがて株主へと還元されると思っている。

イノベーション（価値創造）にはダイバーシティが重要な役割を果たす。ダイバーシティは近年当たり前のように耳にする言葉となったが、日本ではまだ女性活躍や日本人と外国人の意味で使われることが多いと感じる。

しかし私は自身の経験から、ダイバーシティとは、性別や国籍だけでなく、年齢、職務経験など、異なるバックボーンを持った人が集まるこ